

平成 23 年度 第 2 回高津区区民会議企画運営会議 摘録

- 開催日時 平成 23 年 8 月 4 日 (木) 午後 6 時 00 分～8 時 20 分
- 会 場 高津区役所 5 階第 6 会議室
- 参加者 佐藤委員長、富田副委員長、若林副委員長、伊中委員、河村委員、安達委員、仲村委員、横山委員 (区民会議委員)
秋岡副区長、八木課長、佐藤担当係長、塩沢職員 (事務局・企画課)
福田、梅田 (株式会社カイト)
- 次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 調査活動の振り返り
 - (2) 「新しい形のコミュニティづくり」今後の取組について
 - (3) その他
 - 3 閉会

1 開会

佐藤委員長が開会のあいさつをした。

2 議事

(1) 第 1 回区民会議の振り返り

資料 1 「公園現地調査結果のまとめ」にもとづき、事務局が説明した。

(2) 「新しい形のコミュニティづくり」今後の取組について

事務局が資料 2 「「新しい形のコミュニティづくり」調査審議フローシート」、資料 3 「解決策検討シート」、資料 4 「公園を活用したコミュニティ活性化事業企画案」をもとに説明をし、意見交換をした。主な意見は以下のとおり。

【主な意見】

□公園の活用について

公園の安全性

- ・公園を管理する管理運営協議会と愛護会というのは、何が違うのか。(横山委員)
⇒ (事務局) 端的に言うと、権限と助成金の金額の違いである。
- ・市では公園の放射線量の計測をどの程度行っているか。(横山委員)
⇒ (事務局) 確認して報告する。

公園ミーティング

- ・今年度からこども文化センターでプール遊びができなくなったため、「遊びの出前」で末長宗田公園を利用して水遊びをしたら盛況だった。ここは水遊びをすると近隣の人が怒りに来ることで有名な公園だったが、何が問題かを話し合うことが問題解決の糸口になり、その後も継続して水遊びを実施することができた。公園の維持管理は大変だが、お母さん方が協力することによってできることもある。顔の見える関係になれば話し合いもでき、スムーズにことが運ぶと感じた。関係者を巻き込むことが

できるとよい。(河村委員)

- ・その場に行かなければ出てこない話もある。公園ミーティングもどこまで突っ込んだ話ができるかが重要だ。(河村委員)

⇒(事務局)公園ミーティングについて、当初は会議室での開催をイメージしていたが、委員長に現場で「青空ミーティング」をしてはどうかという提案をいただいている。

トイレの設置

- ・坂戸公園では、利用者は要望しているが、いたずら等の問題があり町会は反対している。(富田委員)

⇒(事務局)世田谷の災害用トイレはマンホールに蓋がしてあり、災害時に使用できる形になっているもの。下水管がなければできない。

- ・今回視察した公園でトイレがあったのは、梶ヶ谷第3公園だけだった。(佐藤委員長)
- ・人目がなく広い公園にトイレが設置されている場合が多いので理由を調べたが、周辺住民全員の反対がなければ設置できるため、人が住んでいない所に設置されがちなのが分かった。(河村委員)
- ・都内ではトイレを主要道路側に持ってくるなど、公園の見通しを良くする方向で進んでいるようだ。(富田委員)
- ・トイレのメンテナンスはどこがやっているのか。(横山委員)

⇒(事務局)道路公園センターがやっている。

候補地区の選定

- ・坂戸公園は理想的すぎて、課題というようなところが見当たらない。(河村委員)
 - ・梶ヶ谷第3公園は子育て支援センターも近く、地域も協力的なので良いのでは。(若林委員)
 - ・梶ヶ谷第3公園には普段子供がいないので効果が見えやすい。(河村委員)
 - ・上作延第2公園は一人の個人が頑張っているところなので難しいのではないかと。(佐藤委員長)
- ⇒(事務局)ミーティングをすることで、活動する人を増やす良い機会になる、という考え方もある。

- ・上作延第2自治会そのものがかなり高齢化している。(佐藤委員長)
 - ・溝口南公園はこども文化センターとどこまで連携できるかが課題。(河村委員)
 - ・溝口南公園は運営協議会も立ち上がりアプローチするには良い機会だ。(佐藤委員長)
 - ・高津小学校の避難所運営会議と連動して公園でイベントができれば良いきっかけになる。(横山委員)
 - ・本当は久地地区でやれるといい。遊び場に親子が溢れており、利用に当たっての要望は多いが、誰に言えば良いのか、どう動けば良いのか分からない。コミュニティの活性化を考えた場合、うまくいっていない所でつながりをどう作るかを考える方がよいのではないかと。(河村委員)
- ⇒(事務局)最初から継続的に展開ということではなく、まずは公園ミーティングの開催に限定すれば可能かもしれない。

- ・事業ということではなく公園ミーティングのような形で意見を積み上げることで、次へつなげるきっかけづくりにはなる。(佐藤委員長)

<まとめ>

- ・坂戸公園・溝口南公園・梶ヶ谷第3公園の3つの公園について地元と調整を図り、その結果次第で全体会に諮ることとする。

□学校施設の活用について

- ・学校施設利用のスケジュールから考えると、残された日程の中で具体化させるのはかなり難しいが、関係する団体で現在行われている事業を膨らませる形も考えられる。ただし、公園と学校の両方に取

り組むのは難しいのではないか。(佐藤委員長)

- ・区民祭が中止となったが、その開催予定日に高津小学校で「こども祭り」が行われた。夕方から夜にかけての開催で野外映画会等の催しもあり盛大だったと聞いた。町会等は関わっていないようだが、学校施設の活用の良い実例だ。(佐藤委員長)
- ・高津小学校を区民祭の会場として借りているので何かできるといいね、ということで PTA の OB 有志が集まって開催した会であり、約 2,000 人が参加したと聞いている。(仲村委員)

町会運動会との連携

- ・町会の運動会は数が減っているがやっているところもある。これと連携してはどうか。場所が確保できないのが問題。「こども祭り」に 2,000 人来たことから場所さえあればできると感じた。(仲村委員)
- ・橘地区の「北風っ子」(2 月第 2 日曜に、子母口小学校で開催)は子ども会中心で、催しの内容も子どもたちが考える。学校施設の活用事例としてのモデル事業の紹介にもなる。(仲村委員)
- ・「北風っ子」を膨らませることもできる。(佐藤委員長)
- ・「北風っ子」に大人が参入してやることも可能。(仲村委員)
- ・子ども会に入るきっかけにもなると良い。(河村委員)

会場の確保

- ・市立養護学校のグラウンドは空いている日があるのではないか。一般の人が良くグラウンドを借りている。(富田委員)
- ・地域によっては、養護学校を借りるには六校連が強いと聞いている。(仲村委員)
- ・市立養護学校が借りられるか、知り合いがいるので声をかけてみることは可能である。(富田委員)

企業やスポーツ団体との連携

- ・高津区にはクラブチームはどの程度あるのか。関連するスポーツの有名人は高津区内にいるのか。(横山委員)
- ・区の少年野球協会で講師を依頼する場合は人づてでお願いしている。事務所を通すと高く呼べない。(佐藤委員長)
- ・川崎フロンターレは事務所が高津区内にあるが、講師をお願いすることは無理か。(横山委員)
- ・プロの選手が地域で子供たちを指導することはない。サッカークラブの指導部で OB が学校や保育園で指導をしている例はある。(佐藤委員長)
- ・国学院大学の駅伝チームの合宿所ができた。関連する話をしてもらってはどうか。(横山委員)
- ・スポーツに関係する団体で提携できる場所はあるのか。(横山委員)
- ・市には「川崎市ホームタウンスポーツ推進パートナー」制度があるが、高津区内で認定されているものはない。(佐藤委員長)

⇒ (事務局) 区で「高津スポーツネット」をつくる事業を進めているので、講師については、高津スポーツネットを通じて相談すれば紹介はしてもらえらるだろう。ただし、イベントの企画運営をどこが継続的に担うかがネックになる。

- ・プロ野球選手の OB を中心にした「キャッチボールプロジェクト」があると聞いた。(河村委員)
- ・企業とタイアップすると可能になる。例えば読売新聞だとジャイアンツ。日ハムが丸子に練習場があった頃にはやっていた。川崎フロンターレにも区民祭等で協力してもらっている。(佐藤委員)

⇒ (事務局) 提言としてまとめる際に、具体的な例として企業との連携をあげてはどうか。

- ・野球連盟でコーチはしていないのか。(若林委員)
- ・区の野球連盟は組織的に活動している。野球チームの親には甲子園に出ていた方もいるので、お父さ

んたちがコーチをされている。プロでなくても良ければコーチしてくれる人はいる。(河村委員)

- ・練習や試合はどこでやっているのか。(横山委員)
- ・学校と河川敷を使っている。(河村委員)
- ・NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF は高津中学校にクラブハウスがあり、会費が月 500 円でその時に集まった人たちで野球やサッカーもできる。他の区には総合型スポーツクラブがあっても野球やサッカーはできない。ただし橘地区の奥の方は遠いため利用が難しい。(河村委員)
- ・町会単位で体育指導員がいるが、具体的にはどのような活動をしているのか。(横山委員)
- ・青少年やこども会などの体育行事に参加している。(若林委員)
- ・バレー、ソフトボール、バトミントン、マラソン、親子運動会と年間を通して忙しい。(佐藤委員長)
- ・体育スポーツイベントもやっている。(富田委員)

□町会組織加入に向けたアプローチについて

- ・区民会議からお願いするということではなく、バックアップということになるだろう。3.11 の後、中原区小杉のマンションの中で町会組織立ち上げの動きがあると聞いた。このチャンスを逃さないで組織化させるようだ。(佐藤委員長)
- ・自治会の立ち上げは建設前の地元とディベロッパーとの協定が重要。「自治会を組織すること」という一文が入っていれば良かった。(富田委員)
- ・外からアプローチするよりも、住民から声をあげた方が良いということもある。(富田委員)
- ・声を上げる人がいればいいが、やろうという人がいないと聞いている。(横山委員)
- ・町会に入りたくても入れない場合もある。アクションを起こしても反応がない場合があるので、外からのアプローチも必要だ。入りたい人はいるはず。(安達委員)
- ・東日本大震災では、若いママたちは「町会に入っていなくても仲間内で乗り切れた」という実感を持っている。災害時に町会をどう活用するのも含めて考える必要がある。(河村委員)

(3) その他

- ・区民会議ニュースについて

資料「区民会議ニュース第5号」にもとづき、事務局が説明した。訂正などあれば明日午前中までに事務局に連絡することを確認した。

- ・エコ・エネライフコンクール審査員について

資料6「エコ・エネライフコンクール募集要項」にもとづき、事務局が説明した。区民会議からの審査員として佐藤委員長を推薦することにした。

- ・高津区ふるさとアーカイブ基本構想検討委員会について

資料7「高津区ふるさとアーカイブ事業概要」にもとづき、事務局が説明した。区民会議からの検討委員として佐藤委員長を推薦することにした。

- ・今後のスケジュールについて

資料8「今後のスケジュール」にもとづき、事務局が説明した。今後の日程を、以下の通り確認した。

- ・第2回全体会 9月16日(金) 18時～
- ・次回企画運営会議 10月6日(金) 18時～
- ・区民会議交流会 1月29日午後の予定(会場=高津市民館)

3 閉会